



2008年 政権奪取へ始動!

2008 元旦

雪が舞う中、厳かな気持ちで新年を迎えることができました。

今年は、総選挙が予想されています。真の国民のための政治を行うため、国民の信を問う年になりそうです。元旦から各地で、私の決意を皆様にお伝えしました。

新年、明けましておめでとうございます
去年は、私の人生最大の転機の年であり変革の年になりました。
市議会議員二期十二年、民主党に籍を置いて六年、国政参加を目指して活動を始めて五年、その間二度の惜敗を経験して、参議院比例選挙区への出馬。そして皆さんの大きなご支援を頂いての初当選。本当に有難い一年でした。
新人として国会に送って頂いた私は、現在は、議院運営委員会・文教科科学委員会・沖縄北方特別委員会に所属し、朝八時から始まる各委員会の部門会議にも積極的に参加させて頂いています。
その甲斐も有ってか、現在三つの法案の策定と二つの議員連盟の立ち上げに携わっております。

新年、明けましておめでとうございます



2008. 1月号 Vol.5

発行 民主党参議員比例区第37総支部 参議院議員 大島九州男事務所



Information

あなたも民主党に参加しませんか?

民主党の活動と運営を支え、ともに行動する18歳以上の『党員・サポーター』を募集しています。

◆年会費◆
党員...6,000円
サポーター...2,000円
詳細は事務所迄ご連絡下さい

大島九州男事務所
国会事務所 〒100-8962
千代田区永田町 2-1-1
参議院会館 320号室
☎03-3508-8320
福岡事務所 〒822-0022
福岡県直方市知古 764-1
☎0949-22-0574

法案の制定
法案策定の二つ目は、文教科科学委員会所管の『高校の授業料無償化に関する法案』を作るワーキングチームに参加させて頂いて、教育費の負担軽減のための新しい法律の作成に取り組んでいます。
二つ目は、内閣官房に関わる問題、『銃規制の改正に関する法案』です。昨年も佐世保の銃乱射や幼い子供が父親の銃を触り暴発するなど悲惨な事件が起きてしまいました。
二度とこのような痛ましい事件が起こらないように、銃の所持に関する規定や保管に関する基本的考え方を改正すべく法案策定作業を急いでいます。
三つ目は、厚生労働省所管の『薬害肝炎の被害者救済に関する法案』です。政府は世論の後押しと内閣の支持率の低下から被害者の一律救済を表明していますが、ここで根本的に足りないものは、先天性の病気が治療で薬害肝炎に感染した人を救う法律案にはなっていない点です。
その理由が「薬を使わなければ、先天性の患者さんは延命出来なかったのだから、感染しても仕方が無い」という信じられない論拠であると言います。しかし、私はそんな事では、到底一律救済とは言えないと考えています。
私たち民主党は、全ての被害者の方々が何らかの形で救われる法律を作るために真剣に議論しています。

議員連盟立ち上げ
議員連盟の立ち上げの二つ目は、日本の医療制度の見直しと国民の負担削減を実現するために、統合医療や予防医学、医療費負担、介護・リハビリ等のあり方を検討し、部分医制度の導入拡大等の研究をする議員連盟です。
そして二つ目は、私のホームグラウンドである教育問題ですが、個性豊かな子供達の育成充実の為に、民間での研修機関をも含め、スポーツ・文化・学習面等、あらゆる分野の教育機関の在り方を多角的に調査研究する議員連盟です。
この二つの議員連盟を通常国会が始まると同時に始動して行くべく、現在準備をさせて頂いています。
今年も、『一票一心』と『奉仕と無の心』の信念を柱に、一人一人の国民の皆さんを家族と思うその心で国政に関わらせて頂きます事をお誓いして、本年の年頭の所信表明とさせて頂きます。



高宮 大島参議夫妻 栗田 金田 橋本 脊尾

本年もよろしくお願ひします
現在、大島事務所は、皆様に支えられながら左記のスタッフで活動をしています。
生まれたばかりの、未熟な事務所ですが一生懸命に頑張りますので、何卒、よろしくご指導ご鞭撻をお願いします。
尚、お近くにお越しの際は、お気軽に事務所にお寄り下さい。
平成二〇年一月
国会事務所
脊尾 清浩 (政策担当秘書)
小北 典代 (公設第一秘書)
宇佐美奈央 (事務所員)
福岡事務所
橋本 邦男 (福岡事務所長)
金田 智裕 (公設第二秘書)
高宮 誠 (私設秘書)
栗田 美紀 (事務所員)
左の写真は、昨年の十一月に福岡で催された「囲む会」でのスタッフ紹介風景